

「虐待予防を地域から考える シンポジウムin大阪」

—「新しい家庭訪問型子育て支援」の仕組みと特徴—



近年、関西地区では虐待事件が続き、子どもの虐待に対する関心度が深まっている。虐待は、「その親が悪い」と考える向きも多いが、必ずしも個人の資質によるものではなく、様々なストレスを抱える現代社会では、誰でも虐待に至る可能性があることをいま一度認識し、その一因となっている親の孤立やストレスの問題を解決する方法を提案する。



2010年

11月6日(土)

13:30-17:00



▶ 13:30 挨拶

山田幸恵(ホームスタート・ジャパン 事務局長)

柳瀬真佐子(関西子ども文化協会 代表)

▶ 13:40 講演I

酒井佐枝子氏(大阪大学大学院 連合小児発達学研究科)

「親としての育ちを支える支援

—一人とのつながりの中で生きる私たちにできること—

▶ 14:40 休憩

▶ 14:50 講演II

西郷泰之氏

(大正大学 人間学部教授、NPO法人ホームスタート・ジャパン代表)

「ホームスタート:新しい家庭訪問型支援とは」

▶ 15:50 質疑応答

▶ 16:20-17:00 個別相談

場所: **ドーンセンター**
(5階 特別会議室)

参加費: **1,000円**
(主催団体会員500円)

定員: **90名**



参加対象者

子育て支援関係者、行政関係者、大学研究者、その他子育て支援や地域支援に関心のある方々

主催: NPO法人ホームスタート・ジャパン・ NPO法人ストレスカウンセリング・センター・
NPO法人関西子ども文化協会

後援: 大阪府、大阪市、堺市、社会福祉法人大阪府社会福祉協議会、社会福祉法人大阪市社会福祉協議会、社会福祉法人堺市社会福祉協議会(予定)、NPO法人児童虐待防止協会

お問い合わせ・お申込みは裏面へ